

相馬だより～復興支援報告～ 第4回

広島支部 福馬 晶子

私は、昨年4月より1年間の予定で相馬市の災害協力派遣職員として働いています。今回は、被災地相馬の仮設住宅、地域コミュニティについて紹介します。

1. 風土などに合わせ変移していく仮設住宅

仮設住宅は、相馬の津波や震災で家を失った方の他、避難区域ではないが放射能濃度の高い区域の方の自主避難についても開放しており、1,000軒ほど建築し、市民に使用されています。また、他自治体にも開放しており、飯館や南相馬の仮設住宅を500軒建築し、使用されています。まとめて1,000軒ある区域については、仮設住宅団地となっており、圧巻です。



■合計1,500世帯ある区域

■在来工法による仮設住宅

当初にプレハブで建てたものは、まさに鉄板でできた汎用品で、地域の気候に合っていないという問題がありました。風が強い地域なので、入口に風除室を付けたり、隙間風を防ぐために基礎や壁に目張りをするなど、さまざまな改良が加えられました。遅くに建った仮設住宅は、地元業者により木造在来工法で建築するなど、いろいろなバージョンもできています。長椅子や花を置くなど、住み続けることにより憩いの場も形成されています。また今年度になって、倉庫を足したり、エアコンを付ける工事が全国的にされています。

2. 仮設住宅における地域コミュニティ

仮設住宅において、コミュニティ維持対策、孤独死対策、ソフト面の支援が行われています。

- ①毎日の配食の管理、集会所での共同会食
- ②支援物資等の配給
- ③仮設住宅の衛生状態・治安の管理
- ④炊き出し・イベント等ボランティア活動
- ⑤復興対策会議への要望とりまとめ
- ⑥住民健診等の行政サービスの周知、実施
- ⑦孤独者、健康状態不良者のチェック
- ⑧コミュニティ形成のための各種事業

一般家庭には、米と1日1回はおかずの給食、高齢者には1食全部揃えたものを1日1回給食として配食しています。

また、被災した原釜の業者などで構成するNPO「はらがま朝市クラブ」により、被災者による被災者の支援も進んでいます。被災者のイベントとして、毎週土・日に朝市を仮設店舗で行う他、被災者を市が雇用し、「は



■給食

■高齢者を集めての食卓



■朝市

■リヤカーでの売屋さん

らがま朝市クラブ」の供給する物資を高齢者に戸別訪問して販売することにより、見守り活動を行っています。

3. 災害復興住宅、公共施設の建築について

相馬市では、対象に応じ住宅を3段階に分けています。

①災害復興住宅、共同住宅

高齢者の被災者向けに、グループホームのように高齢者がコミュニケーションを取れるゾーンを設けた共同住宅である「井戸端長屋」「曲がり屋長屋」を建築しています。NPOの協力を求め、配食やイベントなどを行っていく予定です。

②災害復興住宅、1戸建ての住宅

津波で流された地区は1戸建ての住宅が多かったため、戸建の市営住宅を建築しています。将来的には分譲する予定です。

③高台移転団地

資金がある方には、高台移転として地区ごとに住宅団地を造成し、そこに移転していただく予定です。住宅などは、市が既に確保していた土地等に立ち始めているますが、高台移転用敷地は用地買収からのスタートで、少しずつ、やっと敷地が確保でき始めたところです。開発し、住宅団地と災害復興住宅を併せて整備する団地もあります。

新しい公共建築物は仮設庁舎、防災コミュニティセンター、防災集合所、防災倉庫などが現在設計、着工、竣工とそれぞれの段階を踏んでいます。

災害復興関係の建築物は、和風、切妻、腰壁等の統一されたデザインコードを進め、目立たず、地域に落ち着いたデザインとして建築しています。

これらの建築を通して、復興に寄与していきたいと思っています。

建築士

IROSHIMA

表紙写真について



「O-HOUSE」

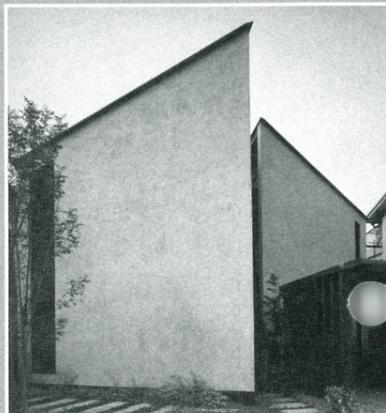
- 設計／向山徹建築設計室 向山徹
- 構造設計／下山建築設計室 下山聡
- 施工／橋本建設株式会社
- 構造構法／木造軸組工法
- 基礎／鉄筋コンクリートベタ基礎
- 規模／地上2階 軒高6.740m 最高高さ7.085m
- 敷地面積／198.12㎡
- 建築面積／102.51㎡(建蔽率51.75% 許容60%)
- 延床面積／148.38㎡(容積率74.90% 許容200%)
 - 1階 81.16㎡
 - 2階 67.22㎡

広島市中心部にほど近い住宅地に建つ住まいである。敷地は東西に木造2階建、南に3階建の住宅が隣接している。

全体の構成は、2つの台形平面が南北にずれる形で、東西に向かい合っている。一方は茶の間・2階のリビング・ライブラリーのある公的な場所、もう一方は個室・サニタリー空間・納戸などの私的な場所である。2つのゾーンは、中央に位置する玄関・階段・書庫のあるジャンクションによって繋がる。

台形平面のずれや斜めのラインによって隣地との間に生まれる空間が、近隣との関係をさまざまな形で融和させている。

形態は袖壁や格子など多くの壁をもった建築となった。躯体の軸組より外側に大きな空気層のある外壁を造り、台形の平面を東西から大きく覆い、風雨から木部を保護すると同時に、準防火地域においてはそれが防火要素としても有効に機能することとなった。



CONTENTS

2013年 年頭のご挨拶	3
委員会紹介	6
ぶろじえくとニュース	8
作品紹介	10
社会活動委員会 女性部会 合同見学交流会	16
事務局からのお知らせ	17
賛助会員紹介	18
地域だより	20
相馬だより～復興支援報告～ 第4回	22



2013年年頭のご挨拶 新しい年を迎えて

社団法人 広島県建築士会 会長

錦織 亮雄



広島県建築士会の皆様、平成25年の新年あけましておめでとうございます。旧年中の広島県建築士会の活動へのご支援ご協力に、心から感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年を迎えるたびに、置かれている時代の状況を考えます。特に今の時代、前世紀末から今世紀の初め、この20年間余りの間に、思わなかった状況に陥り、その結果、思いもかけないことが起こり続けております。

それまで対立していた経済イデオロギーの一元化やEUの統合などをはじめとする国家ボーダーの衰退など、人間活動のグローバル化の中で、地域的な生活経済の価値観を超えたマネー投機の暴走や、無原則な経済的競争原理主義が広がり、経済活動はマネーの支配に陥り、安価な生産力と拡大する消費地を求めて右往左往し、中国をはじめとする経済的新興国のアンバランスを内に抱えながらの極端な台頭をもたらし、一方で困窮の中で餓死や疾病に苦しむ国や、逆に飽食のために肥満しリハビリや医療に大金を消費する国など、地球上に大きなアンバランスを生みだしています。その結果、目先の欲望のみを理念とする暴動や紛争が世界各地で起こっています。

生産の合理性や需要の挑発のための末梢的技術の果てしない進歩は、身の回りにブラックボックスを充満させ、分からないものに囲まれて身の回りに不測の危機は拡大し、物や技術を体内化する落ち着いた楽しみは不可能で、地球資源の行く末を知らながら、捨てる文化を否応なしに受け入れるしか方法がありません。

人間の生産資源化、人材化、消耗材化などによる生産拠点への移動と社会的無縁化は、家族や近隣コミュニティなどの人のつながりを崩壊させ、それに加えて、情報受信システムの個人化は、本来社会的であるはずの人間を孤立化し、人の心に乱れを起こしています。精神世界への軽蔑に対する反動のようにオカルトが浸透し、宗教的紛争やテロが起こり、家族的実体の喪失の中で、家族親族の殺し合いなどが勃発しています。

自然との断絶、愛玩的自然観による自然への軽蔑と想像力の喪失は、当然起こるはずの自然災害さえも勝手に想定外化してしまい、安易な日常以外のことは国難や非常事態だとパニックに陥り、適格な対処ができません。

専門分化や職業分化の中で責任分担の分化が進み、官民の乖離や全体的責任の不在を生み、細分化した科学の、要素還元主義的思考、すなわち、物事を要素に分解して理解することで全体を理解しようとする思考方法は、統合的賢人を失わせ、大きな自然災害や原発事故のような人災に対しても、科学者の判断は役に立たない状況です。

責任分化と官民乖離の中で、節操のない権利の主張と形式的責任追及は微に入り細にわたり、その結果としての形式的手続きや法制の拡大は、あらゆる場面に閉塞感を蔓延させ、手続きの錯綜に便乗するような虚偽や偽装などの事件を呼び起こし、手続きの隙間が不測の事故を起こし、それがまた複雑な手続きを再生産しています。

特に我が国はこれらの問題に加えて、少子化、高齢化、人口減少などが急速に進み、メディアの劣化やポピュリズムの弊害なども加わって、あらゆる場面でリーダーシップが確立せず、政治の貧困も甚だしく、細分化した多様な組織は「たこつぼ」のような狭い自分たちの穴のみを大切に、誰もが全体を見ず、いかなることにも同意が形成できず、何も主体的に決定できない、まさに救い難い状況になりつつあります。

これらのことは近代社会が犯してしまった人間の欲望の無限解放と、それに対応する生産と消費の無限拡大が根本的要因であることは、心の底では誰も分かっており、このままではいけないと思っていながらも、あまりにも多くのことの錯綜の中で方向転換が不可能な状況に陥って、とりあえずその日その日を過剰でむなしい豊かさとして忘却の手段としての冗談の中で楽しそうに生きています。

それでも、このような状態から離陸するための動きは各方面で始まっています。欲望を制御するために人間の英知が何万年もかかって培った宗教や哲学や、近代主義を超えた新しい科学の再構築や、分化分解した職業をはじめとする社会構造を再統合する動きです。一昨年の震災は大きくこの動きを加速しました。

建築を創り、街を創り、暮らしを創る建築士は、人類始まって以来の職能人として生活の基本を未来にわたって支える使命がありますから、前述のすべての問題にそれぞれの身の回りから挑戦する使命があります。

広島県建築士会は本年4月から公益社団法人として再出発します。いろいろな問題に挑戦する社会貢献、地域貢献の活動に仲間が手をつないで参加しながら、自分自身を磨いたり、自分たちが結集する建築士会の組織強化を果たして、新しい時代を耕していきましょう。

委員会紹介

企画総務委員会

委員長 栗栖 繁

昨年は省エネ補助事業の採択を受け、建築・住宅団体、建材流通、木材供給、工務店等の連携による広島県木造住宅生産体制強化推進協議会（会長：錦織建築士会会長）を立ち上げるとともに、工務店や個人経営に携わる大工さんを対象に、広島市及び福山市で5回の省エネ講習会を開催しました。本年1月にも2回予定しており、今年度合計200人の受講者に

なります。参加者は省エネ模型を囲んでの議論も盛り上がり、県内の大工さんの省エネ技術向上に役立っているものと思います。協議会としては地域型住宅ブランド化事業の総括的な推進役も担っており、今後も「地域に根ざした住まいづくり」を進めるとともに、具体的な活動を通して建築士会の実力を強化し、ひいては会員増強に繋げたいと思っております。

交流厚生委員会

委員長 井手口 耕三

会員の親睦交流事業において、活気あふれる活動を目指します。人と人とのつながりを大切に考え、会員の皆様が気軽に参加できる行事を企画し、参加者が増加するよう努めます。また会員増強活動として、本年より建築士試験合格者向けの交流会を予定しております。

公益法人移行に向け、これまで行ってまいりましたスポー

ツ行事以外にも取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。2012年度後半の活動については下記の通り予定しております。

- ・1月27日（日）第1回交流会 in 下関（日帰り旅行）
- ・2月16日（土）第39回ボウリング大会
- ・3月末予定 第1回建築士試験合格者の集い

広報委員会

委員長 神岡 千春

会報誌の発行・HPを通じて、会員への情報発信・会員間のコミュニケーション・建築士としての活動を広くアピールすることが役割です。今年度は、委員を各世代に渡った8名に増員。広島県建築士会の活動を広く知ってもらい、一般の方々にも積極的に手に取ってもらえるよう、内容の充実を目指して企画会議を重ねています。印刷物の発行だけでなく、HP

の充実やフェイスブック等のツールを取り入れた情報発信も模索中。毎月発行する「マンスリー」は、会員一人ひとりにタイムリーに情報を伝えることに努めています。会員の皆様には、作品や活動の発表・意見交換の場として、「マンスリー」「建築士HIROSHIMA」を大いに利用していただきたいと思

CPD・専攻建築士制度委員会

委員長 松本 浩一

専攻建築士の審査を行います。今年度の申請数は右記の通りですので、これを当委員会で審査し、連合会の審査も経て正式に認定されます。メンバーは他委員会、支部委員会・部会に重複して活動している者も多く、この委員会での新しい活動は難しいものがあります。

CPD制度は平成22年度より一般にも参加枠を広げ、行政にも活用が浸透しつつあることから、徐々に伸びてきております。専攻建築士登録は大きなメリットを体感できませんが、日本建築士会連合会でも制度改革を検討しているようですので、今後の発展に期待しています。

CPD制度参加者：851名【平成24年11月30日現在】

	会 員	一 般	合 計
建築士会CPDのみ参加	173(3)	79(39)	252(42)
建築士会と情報提供制度と両方参加	475(13)	124(29)	599(42)
合 計	648(16)	203(68)	851(84)

()の数字は平成24年度の参加者

平成24年度専攻建築士制度登録申請

更新者（平成19年度新規認定）申請数：73名

新規申請者数：1名

事業委員会

委員長 高田 由美

個人の活動には限界があります。団体だからできること、集まるからできること、広島県建築士会だからできること、そしてやらなければならないことがあると思います。事業委員会として、そんな事業をやりたいと思っています。平成17年から毎年、「まちづくりセミナー」を開催。会員や建築関係者だけでなく、広く市民の方々ともまちづくりについて考え、学ぶものです。

今年度は丹下健三生誕100年です。広島には丹下健三のデビュー作の平和記念資料館があります。戦後建築初の重要文化財でもあり、広島市の街にとっても重要な建築です。2013年度の活動は、丹下健三関係の記念的な事業をやりたいと個人的には考えています。具体的には進んでいませんが、良いお知恵がありましたらお聞かせください。

試験業務委員会

委員長 山崎 達雄

平成24年度の建築士試験に合格され「一級建築士」「二級建築士」「木造建築士」の資格を取得された皆さん、誠にありがとうございます。残念ながら合格に至らなかった皆さん、次回こそは難関の試験を突破され、合格の喜びを得られるよう心よりお祈り申し上げます。

当委員会は建築士試験申し込みの受け付け、学科試験・製

図試験の会場設定、試験監督等の実務を担当しています。今回建築士試験に合格された方、また次回以降に合格される方も合格の暁には建築士会に入会して、私たち試験業務委員と一緒に建築士試験のサポートをしてみませんか。

※試験に関する詳しい情報

(財)建築技術教育普及センターのHP <http://www.jaic.or.jp/>

社会活動委員会

委員長 杉田 輝征

アクティブな委員会として、4つの部会・研究会で構成されています。各部会は若手とベテラン、支部からの選任や専門分野での選出などで編成。建築士はもちろん、地域の子どもたちから高齢者まで参加できるさまざまな企画を継続的に実行し、着実に充実してまいりました。

本年度4回目の「建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム」を2月24日（日）に開催します。2つの助

成対象団体からの事例発表、青年・女性部会の「地域実践活動選考会」、まちづくり部会から「まちづくり講座」として実践活動の報告があります。

地域貢献活動センターは本年度、4団体に助成対象事業を決定。来年度からは連合会の補助が無くなるので、県支部独自の活動を模索する年と考えます。住宅研究会は本年2月に三澤康彦・文子さんを迎え、住宅講演会を開催します。

地域貢献活動センター部会 担当委員 倉田 洋二

地域貢献活動センターは、地域まちづくり活動への支援をすることを目的として、平成12年より建築士会の会員が参画し、継続的な地域貢献活動を行うまちづくり団体に対して助成を行っています。来年度以降も引き続き地域貢

献活動の支援を行い、建築士会の社会的地位の向上に努めてまいりたいと思います。また、助成を行う資金の確保方法について部会内でも検討中ですが、何か良いご意見を皆様よりたまわられましたら幸いです。今後とも、地域貢献活動センター部会をよろしくお願いいたします。

青年部会・女性部会 青年部会担当委員 柳河 元木

女性部会担当委員 橋本 明美

青年部会と女性部会は、青年・女性建築士の集い中四国ブロック大会、中四国若手建築志（士）交流会、全国女性建築士連絡協議会（全建女）、全国大会等に参加し会員同士の交流や研鑽を図っています。また建築士として地域や社会に何が提案できるのか、どう働きかけるのかを意識しながら事業を行うことを目標としています。本年2月24日開催の「第4回建築士が関わるもの・まち・くらしづ

くりフォーラム」では、各支部の活動や本部青年・女性合同事業の活動発表と、昨年9月に訪ねた被災地石巻の今を「伝える」視察報告を行います。来年度はこの視察での経験を基に、建築士としての提案を社会に発信したいと考えています。また継続事業として「歩いてさがそう未来のまち」ウォークラリーを、来年度は東広島市で開催予定です。JR西条駅前には区画整理や新市庁舎建設により様変わりした区域と、酒蔵が残る古い街並みが隣接している地域です。この地域性を生かした事業となるように準備を進めています。

住宅研究会

担当委員 生田 文雄

住宅研究会は、広島県の住宅文化の創造と社会貢献、および建築士の資質の向上を目指して活動している研究グループです。具体的には2カ月に1回程度集まり、会員の興味のあること、こだわっていることを発表し合ったり、住宅に関わる新しい情報などをテーマに勉強しています。

これまで、住宅設計コンペの実施や製材企業からのプレカット工法の調査研究、ヨーロッパの建築視察をした会員のスライド上映会、数寄屋建築の見学会などを実施しました。また年1回程度、会員以外の方も対象にした講演会を開催。住宅に関わる自由なテーマを見つけ、一緒に楽しく勉強してみませんか。皆様の参加をお待ちしています。

まちづくり部会

担当委員 下田 卓夫

昨今の景気後退で、公共主導のまちづくりから住民主体のまちづくりへと移行し、建築士が関わるまちづくりも行政、住民との3者からなるまちづくりシップによる活動となっています。建築士の関わるまちづくり活動において、より

専門性が求められる時代になっているとも言えます。新年度からはこれらの社会的要望を踏まえ、「住民と建築士のまちづくり講座」を開催し、建築士が関わる「地域に開かれたまちづくり活動」を応援していきたいと思

PROJECT NEWS
ふるじえくと ニュース

●「広島のこれからの
地域型木造住宅」を考える

社会活動委員会 住宅研究会

地域資源を活用し、その地域の気候・風土に合った魅力ある木造住宅を供給していくことは、地球環境問題の面からも大変重要なことです。そこでこの度、木造住宅のエキスパートである三澤康彦・文子ご夫妻を講師にお迎えし、これからの木造住宅について考える講演会を開催いたします。お二人の講演の後には、住宅研究会のメンバーも加わり、意見交換会を行います。ひろしま地域型住宅ブランド化事

業の実現の一助になればと思っております。リーフレットも同封しておりますので、お誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。

日時：平成 25 年 2 月 16 日 (土)

13:00 ~ 15:45

会場：広島平和記念資料館東館

地下1階「メモリアルホール」

共催：広島県木造住宅生産体制強化推進協議会
(県内の省エネ事業の推進を図るために組織された。建材流通、建築・住宅、木造供給、工務店等の11団体から成り、事務局は広島県建築士会が担当。)

●「第4回建築士が関わる

もの・まち・くらしづくりフォーラム」開催

社会活動委員会 地貢献センター部会

青年部会・女性部会・まちづくり部会

建築士と社会との関わり方を考え、広島における建築士の新たな社会貢献活動について、一緒に知恵を出し合うフォーラムです。このフォーラムは隔年で開催しており、今回は(財)広島市未来都市創造財団と広島市まちづくり市民交流プラザとの共催で

行います。

第1部は、各支部青年部(委員会)及び社会活動委員会青年部会・女性部会の地域実践活動報告です。中四国ブロック大会における地域実践活動発表会の広島県代表者選考会を兼ねています。

第2部は、広島県地域貢献活動センター助成団体の「アーキワーク広島」とNPO法人「げごやげんき丸」によるまちづくり活動の発表、社会活動委員会まちづくり部会による活動報告、青年部会・女性部会による東日本大震災被災地の石巻視察報告です。

是非この機会に、より多くの方々にもまちづくり団体の活動や建築士会における地域住民等と連携した活動を理解していただき、更に活発な活動に繋がることを願っています。

日時：平成 25 年 2 月 24 日 (日)

13:00 ~ 17:00

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ
北棟6階 マルチメディアスタジオ



既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| ■ 指定確認検査機関 | ■ 登録住宅性能評価機関 | ■ 指定構造計算適合性判定機関 |
| ■ 登録建築物調査機関 | ■ 適合証明業務(フラット35) | ■ 長期優良住宅認定審査業務 |
| ■ 住宅瑕疵担保責任保険業務 | ■ 調査診断業務(耐震診断等) | ■ 耐震診断判定業務 |
| ■ 住宅エコポイント関連業務 | | |

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。

株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

本社〒730-0029 広島市中区三川町7-1
SK広島ビル4F

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京・札幌 営業所:呉

URL <http://www.jesupport.jp/>

大切なマイホーム。

入っていますか?

まもりすまい保険

新築住宅は、住宅を供給する事業者の「住宅瑕疵担保責任保険」への加入等が法律で義務付けられています。



リフォーム工事に
検査と保証で
安心をプラス
リフォーム
保険

既存住宅の売買時に
検査と保証で
安心をプラス
既存住宅
保険

マンションの
大規模修繕工事に
安心をプラス
大規模修繕
かし保険

入っていれば、万が一の時でも安心。

対象は、戸建、マンション、賃貸、独身寮、寄宿舍、グループホーム、公営・公務員住宅 など



国土交通大臣指定 住宅瑕疵担保責任保険法人

住宅保証機構株式会社

〒108-0014 東京都港区芝 5-29-14 田町日エビル
TEL03-6435-4690
ホームページ <http://www.mamoris.jp/>



広島県統括事務機関

株式会社 広島建築住宅センター

(指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関・フラット35適合証明機関)

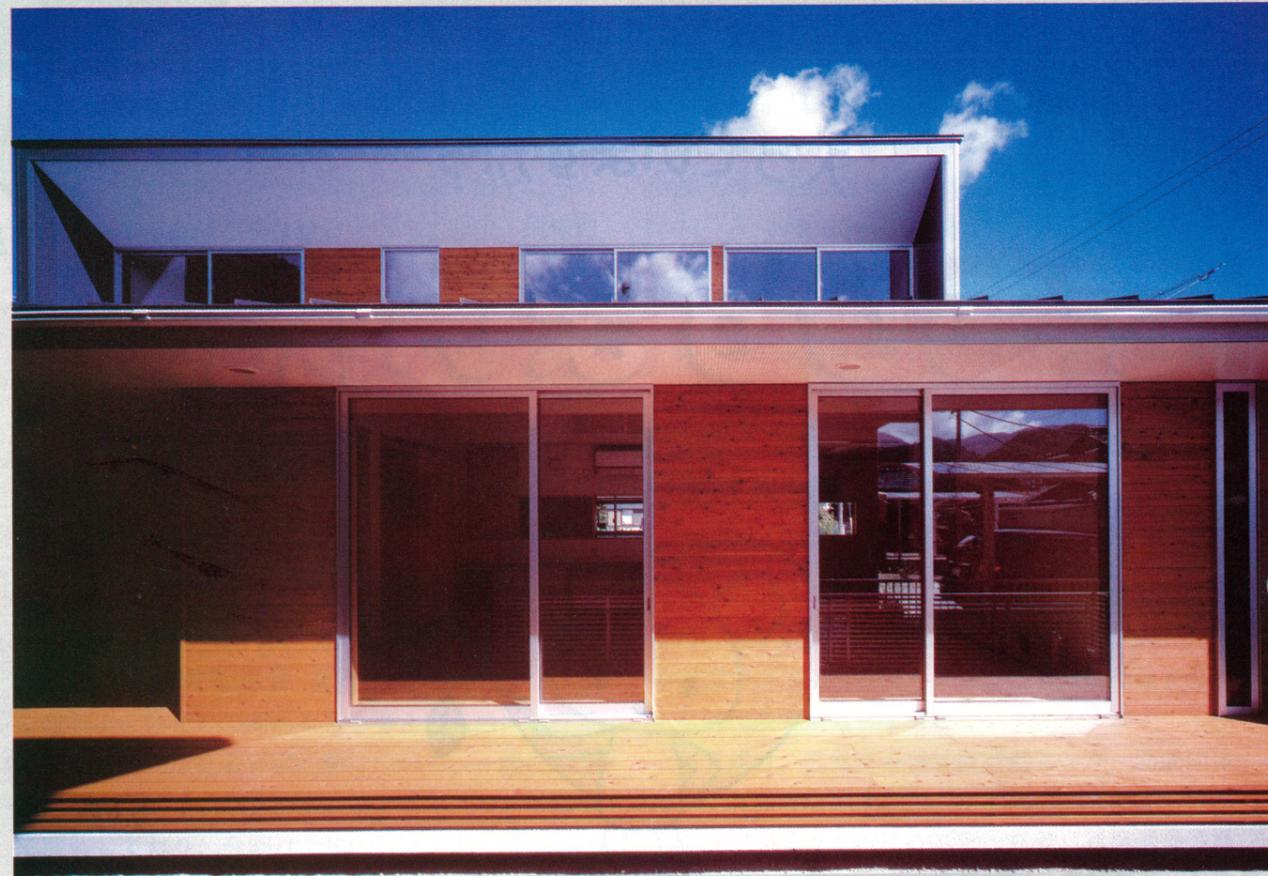
●本社 / 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
セントラルビル3階 TEL082-228-2220
●福山営業所 / 〒720-0034 福山市若松町8-22
福山土木建築会館内 TEL084-928-3979
ホームページ <http://www.hkjc.co.jp/>

まもりすまい保険の特定取次店

呉市: 南アイシン設計事務所 呉市中央六丁目3-26 TEL:0823-23-1190	三次市: 南岡田建築設計事務所 三次市島敷町1106-1 TEL:0824-63-4306
三原市: 正尺建築設計事務所 三原市東町二丁目1-4 TEL:0848-64-7733	庄原市: 南山谷建築設計事務所 庄原市中本町1-13-3 TEL:0824-72-1382
尾道市: 南元廣建築設計事務所 尾道市西御所町6-15 TEL:0848-23-5300	廿日市市: 株式会社小野産 廿日市市木材港南4-3 TEL:0829-34-3755

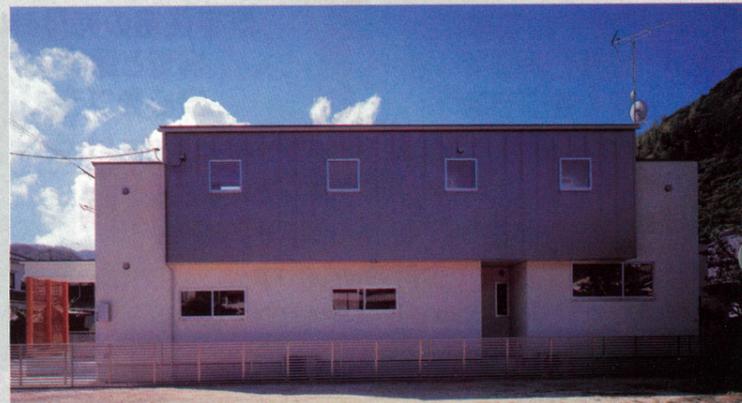
因島・中庄の家

尾道支部



30歳代のご夫婦とお子様3人のご家族のための住居です。ご夫婦の生活を長い目で考え、バリアの無い生活を重視して寝室は1階に配置。小さな子ども室のみ3室を2階に上げました。周りの環境に対し、抗うことなく素直な佇まいとなるよう気を配り、温暖な瀬戸内海気候を満喫できるよう濡れ縁やデッキを広く設えました。家の中での公私の空間を明確に分離し、自由度の高い回遊性のある動線でそれらをつなげ、使い勝手の良いプランとしました。

設計監理／(株)濱田昌範建築設計事務所
 施工／福本建設
 延床面積／128.22㎡
 構造規模／木造 2階
 所在地／尾道市因島中庄町
 用途／専用住宅
 竣工／平成22年10月
 写真／野村 和慎



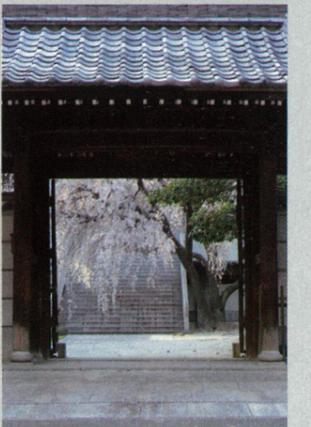
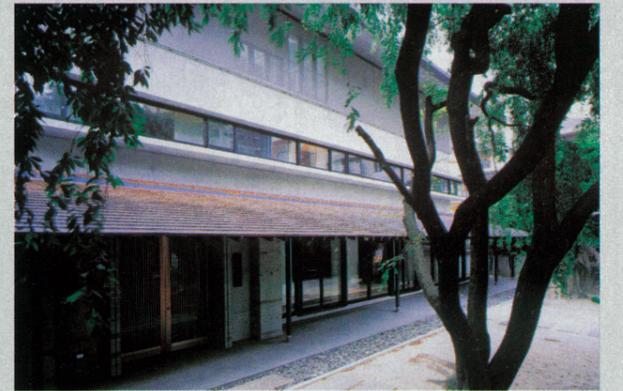
曹洞宗八屋山普門寺庫裏

広島支部



設計監理／(株)古本建築設計
 施工／(株)共立
 延床面積／472.54㎡
 構造規模／RC造 3階
 所在地／広島市中区大手町
 用途／庫裏
 竣工／平成23年7月

曹洞宗八屋山普門寺は、広島平和公園から徒歩数分の街中にある。専ら住居として使用されてきた庫裏の建替えであるが、その目的は、もっと地域に開かれたお寺にしたいというビジョンの実現にあった。境内は見事な枝垂れ桜の庭を正面に、奥側に本堂、左手に座禅堂という配置である。既存の庫裏は本堂の脇にひっそりと建っていたが、今回の計画では場所を座禅堂の対面へと移動させ、正門から本堂に向けて伸びる一文字状の建物として隣地境界寄りに配した。その細長い庫裏は隣接建物との緩衝帯となって境内を周辺環境から切り離し、寺社領域としての精神性を高めていく。また、庫裏が公共性を得る上で主軸となる、庭への開放性と一体化においても有効な間口が確保され、門から本堂へと続く軸線や境内の回遊性も強化された。意匠的には伝統的な様式を簡素化し、素材感を大切に組み合わせ、時を超えて美しく佇むデザインとした。陰影を創る深い軒、内部空間に伸びやかさを提供しつつ露出を抑える横連の窓、柔らかくも端正な表情をしたステンレスメッシュのスクリーン。それらの意匠は、通風、採光等の居住空間としてのアメニティを確立した上で、境内という静謐な場所に私的な雰囲気が出過ぎない慎ましさを考えている。公共への開放の場となる1階は、寺社域を示すアイコンとして御堂と同じく銅板葺きとしたが、床高に関しては異なり、地面からわずか30センチの上がりとした。それは、文字通り敷居の低い、日常の延長線上にある開かれた場所であることの象徴であり、また、実際の使用の上でも庭との連続性を強め、例えば精進料理教室を中心としたワークショップや野点、お月見など、自然との一体感を得る場へと発展させるためである。居住部分の屋根は、機能性、耐久性、環境への有用性といった基本性能を重視して銅板を用い、屋上には太陽光パネルを設置した。それらのハードは自然要素の性質を読み取って展開させた内部とで相乗的に環境負荷の軽減に寄与し、時代に応えた建築となっている。(古本 竜一)



ゆっくりとアンティークになる家・自邸

東北支部



設計監理/永井敬建築デザイン事務所
 施工/有IKIコーポレーション
 延床面積/182.56㎡
 構造規模/木造 2階
 所在地/庄原市宮内町
 用途/専用住宅
 竣工/平成24年8月

この住宅は設計者の自邸でもあります。お客様にご提案するには、「まずは自分自身が実感していること」という思いから建築にまりました。

屋根瓦はフランス製。外壁にはモルタル造形による石積みと、軽くエージング塗装を施し、実際に海外で見てきた経年変化による「ハチミツ色」の風合いを表現しています。内装の床はフレンチパイン。壁、天井はクロスは一切使わず、ほとんどを漆喰塗り。子どもたち自身の手によって塗られたカラフルなチョークペイントは、子どもたちの限りない想像力を膨らませます。家事動線も、キッチン→ワークスペース→洗面室→屋外パティ

オ及びリビングの配置で、家事を円滑にしました。またシンプルながらも、畳の間と掘ごたつが使い分けられる和室や、リビングに薪ストーブ。海外のホテルを思わせる洗面&バスルーム。そこから1歩踏み出せば、外部からの視線をなくしたパティオ内に信楽焼のバスタブを設置し、露天風呂だけでなく、夏は子どもの水遊びやベットのシャンプーもできるよう、お客様のさまざまなニーズを体感できるようにしました。

住宅だけでなく、マツダスタジアム「スポーツバー」をはじめとする店舗施工の技術も取り入れることで、いつまでも帰るのが楽しみに感じられる家になりました。



せいれんじ幼稚園Circle

呉地区支部



この建物は幼稚園の別館として建築されたものです。普通教室とは別に、園児が屋内で伸び伸びと運動ができ、楽しく音楽を演奏することができる専門の特別教室と、園児の給食を作る厨房が含まれています。

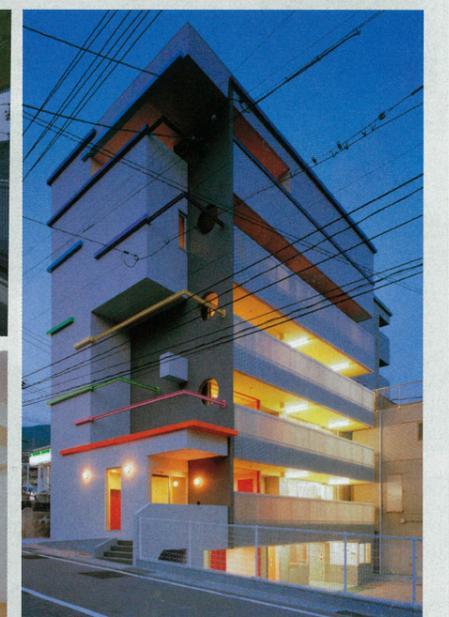
外壁は白を基調として、園児の笑顔、優しさ、楽しさ、未来への想い、心の広がり、オレンジやグリーン、ピンクなどのいくつかの色として表現しました。

その色を建物の周りに、輪っかのようにぐるりと回して、この建物を囲む円のように、サークルのようにしました。そして、その円という文字を「縁」に例えて、園児の心が円のように丸く柔らかくなるように、そして、人と人との縁を大切にできる園児になるように思い、設計したものです。

周辺は住宅が多く建つ地域なので、できるだけ昔からの環境を壊すことのないように配慮しました。特に配慮した点は、建物が建つことによってできるビル影を作らないことです。建物の建つ位置を敷地内で考慮し、周辺の住宅地に影を作らないように建築しました。

建物の色についても、白を基調にいくつもの綺麗な色をとこところに使うことで、周辺に対して威圧感などを感じさせることのないよう、建物を見た人の心が和むよう配慮しています。

設計監理/株式会社 balance design
 施工/井本建設株式会社
 延床面積/893.09㎡
 構造規模/RC造 6階
 所在地/呉市伏原
 用途/幼稚園
 竣工/平成24年6月



地域密着型グループホーム・ジュンベリーの家

東広島支部



設計監理/南大江建築設計室
 施工/新興建設株式会社
 延床面積/297.85㎡
 構造規模/木造 1階
 所在地/東広島市河内町
 用途/グループホーム
 竣工/平成23年12月



廊下



個室



浴室



リビング

平成23年度、東広島市高齢者福祉計画・東広島市介護保険事業計画として認知症対応型共同生活介護事業者の公募が東広島市よりあり、複数の事業者の中から選考されて、平成24年1月にオープンしました。リビング・廊下の天井は高くし、広く落ち着いた空間にしています。介助者が1人でも入浴介助ができるように機械浴槽が導入されました。個室から出ると廊下の照明が人感センサーで点灯し、夜間の行動が分かりやすく、転倒事故を未然に防ぐ工夫をしています。地域交流ルームも設置し、地域の方々も気楽に集まれる地域密着型グループホームです。地域活性化の拠点の1つとなる施設を目指しています。

ノスタルジー漂う古民家風の家・S邸

福山支部

古民家風と山小屋風の2つのテイストの住まいを希望。先人の知恵と最新技術を融合させた快適な空間。先代から受け継いだ大正・明治時代の箆笥を利用し、玄関ホールには「ながもち」を、ダイニングには和ダンスを、レースのカーテンは「蚊帳」を利用している。ノスタルジー漂う古民家風の家。

設計監理/坂本建設工業株式会社
 施工/坂本建設工業株式会社
 延床面積/168.26㎡
 構造規模/木造 2階
 所在地/福山市久松台
 用途/専用住宅
 竣工/平成24年3月



作品掲載会員紹介

<p>因島・中庄の家 設計 濱田 昌範 (株)濱田昌範建築設計事務所 〒722-0052 尾道市山波町570-9 TEL 0848-20-7312 FAX 0848-20-7313 URL http://mh-architect.com/ E-mail hamada@mh-architect.com</p>	<p>曹洞宗八屋山普門寺庫裏 設計 古本 竜一 (株)古本建築設計 〒730-0814 広島市中区羽衣町1-11 TEL 082-542-5442 FAX 082-542-5443 URL http://fukumotoaa.co.jp/ E-mail admin@fukumotoaa.co.jp</p>	<p>ゆっくりとアンティークになる家・自邸 設計・施工 永井 敬 永井敬建築デザイン事務所 〒727-0007 庄原市宮内町428-1 TEL 0824-72-8498 FAX 0824-72-7199 URL http://ikiikiya.com/ E-mail ikiikiya@bronze.ocn.ne.jp</p>
<p>せいれんじ幼稚園 Circle 施工 井本 健一 井本建設株式会社 〒737-0814 呉市山手1-1-33 TEL 0823-23-2506 FAX 0823-25-1061 URL http://imoto-build.jp/index.html E-mail s-imoto@imoto-build.jp</p>	<p>地域密着型グループホーム・ジュンベリーの家 設計 柳河 元木 (南)大江建築設計室 〒739-0025 東広島市西条中央6-31-38-3F TEL 082-423-4757 FAX 082-423-4845 URL http://www.oe-arc.co.jp/ E-mail yanagawa@oe-arc.co.jp</p>	<p>ノスタルジー漂う古民家風の家・S邸 設計・施工 坂本 浩子 坂本建設工業株式会社 〒720-1146 福山市駅家町大字大橋1005-1 TEL 084-976-4501 FAX 084-976-2890 URL http://sakamotokk.co.jp/ E-mail info@sakamotokk.co.jp</p>

社会活動委員会 女性部会 合同見学交流会

福山支部 長岡 みゆき

福山市沼隈町、江戸中期の民家も現存する集落の古民家が今回の見学地です。この地区は平家谷ともいわれ、平家の落人伝説が伝えられていることでも知られています。1995年には日本民族建築学会のシンポジウムが開催されるなど、この地域の民家集落は全国的にもまれにみる貴重な文化遺産だそうです。しかし、人が住まなくなって崩壊したり、新築のために解体されたりと、その姿を消しつつあるのが現状のようです。そんな民家を何とか守ろうと活動されているNPO法人「ぬまくま民家を大切に作る会」の方のご案内により、築130年の古民家を見学させていただきました。

解体新築を思いとどまり、20年も空き家だった家を自らの手で約5年をかけて改修されたお宅。手作りの囲炉裏を囲んで奥様からのお茶のおもてなしをいただきながら、NPOの方々、職人の方々、ご近所の方々の協力の下、作り上げていく過程のお話を伺いました。住まいを大切に、古民家で暮らすことを楽しんでおられる様子を伺って、ただ古いものを保存するのではなく住み続けることの大切さ、その土地に根付いた暮らし、文化を伝えていくことの大切さを感じました。



村川邸 囲炉裏を囲んで



岡崎邸



岡崎邸 お話を聞く



倉田邸



倉田邸 お話を聞く



古民家カフェ

事務局からのお知らせ

◆CPD管理料・25年度(次年度)分のお支払について

建築士会CPD制度に参加されている皆様には、2月頃ハガキで25年度データ管理料のお支払のお願いをさせていただきます。3月末日までにお支払いいただきますようお願い申し上げます。

*参加内容に変更がある方、24年度でCPD制度への参加を取り止める方は必ず事務局までご連絡ください。

平成25年2月1日

CPD制度参加者
〇〇〇〇様

社団法人 広島県建築士会
〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47
広島県情報プラザ 5F
TEL. 082-244-6830(代) FAX. 082-244-3840

平成25年度分CPDデータ登録・管理費
あなたのCPD登録番号 34XXXXXXXX

皆様は現在、「建築士会CPD制度」に参加されています。平成25年4月～平成26年3月までのデータ登録・管理費△△円をご請求申し上げますので、3月末日までに下記口座にお振り込み下さい。直接、事務局窓口にお越し頂いても結構です。
なお、会社名のみでのお振込みはどなたのかが分かりかねますので、会社名の後に個人名を入れるか、もしくは事前にご連絡をお願い致します。

データ登録・管理費 △△円
振込口座 広島銀行 大手町支店
普通 ×××××
社団法人広島県建築士会

なお、今年度でCPD制度参加を辞められる方、又は内容を変更される場合は、手続きの必要がありますので、必ず事前に事務局までご連絡下さい。

◆「すべての建築士のための総合研修」の開催について

今年度も、「すべての建築士のための総合研修」を開催いたします。一人一人の努力義務を反映する研修を通して、建築士としての基本精神と実務的知識を習得してください。



注：この研修会は建築士法第22条の2で定められた「定期講習」ではありません。

日時：平成25年2月6日(水)午後

会場：広島県情報プラザ

内容：第1部 建築士に必要なマネジメント能力
第2部 広島の建築についての座学(予定)

◆24年度 最終・定期講習受け付け中です!

日時：平成25年2月20日(水) 9:40～17:30

会場：広島県情報プラザ

*受講申込書の受付(郵送可)

平成25年2月1日(金)まで(土日は除く・受付期間内でも定員になり次第、締め切ります)

*受付場所 広島県建築士会本部

(広島市中区千田町 3-7-47-5F)

CPD認定プログラム(1月～3月の広島県内実施分)

2012年12月10日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
1/11	第2回 設計者のための木造実践セミナー(広島会場)	2	広島耐震診断設計協同組合	082-272-4553
1/11	第3回 設計者のための木造実践セミナー(広島会場)	4	広島耐震診断設計協同組合	082-272-4553
1/12	第4回 設計者のための木造実践セミナー(尾道会場)	3	広島耐震診断設計協同組合	082-272-4553
1/12	第5回 設計者のための木造実践セミナー(尾道会場)	2	広島耐震診断設計協同組合	082-272-4553
1/12	第6回 設計者のための木造実践セミナー(尾道会場)	5	広島耐震診断設計協同組合	082-272-4553
1/16	木造建築物の組立て等作業主任者技能講習 in 福山 第1日目	7	防災防広島県支部	082-228-8250
1/16	酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育 in 広島 第4回	6	防災防広島県支部	082-228-8250
1/17	施工管理者等のための足場点検実務者研修 in 広島 第3回	4	防災防広島県支部	082-228-8250
1/17	木造建築物の組立て等作業主任者技能講習 in 福山 第2日目	6	防災防広島県支部	082-228-8250
1/18	建設工事実務講習会	6	日本建築協会中国支部	082-232-6471
1/24	今こそ現場代理人!!できる現場代理人養成!!建設マネジメントスキルアップ	6	インターウェブ	099-812-0677
1/28	木造住宅設計検定3級	7	木造住宅デザイン研究会ユア・ホーム	03-3373-5044
1/28	木造住宅架橋検定3級	7	木造住宅デザイン研究会ユア・ホーム	03-3373-5044
1/29	木造住宅設計検定3級	6	木造住宅デザイン研究会ユア・ホーム	03-3373-5044
1/29	木造住宅架橋検定3級	6	木造住宅デザイン研究会ユア・ホーム	03-3373-5044
2/6	足場の組み立て等作業主任者技能講習 in 福山 第4回1日目	7	防災防広島県支部	082-228-8250
2/7	足場の組み立て等作業主任者技能講習 in 福山 第4回2日目	6	防災防広島県支部	082-228-8250
2/9	景観シンポジウム「歴史・文化を生かした都市景観」	3	広島市都市整備局	082-504-2277
2/13	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 in 福山 1日目	7	防災防広島県支部	082-228-8250
2/14	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 in 福山 2日目	6	防災防広島県支部	082-228-8250
2/16	広島からの地域型木造住宅	3	広島県建築士会	082-244-6830
2/18	職長・安全衛生責任者教育 in 福山 第4回1日目	7	防災防広島県支部	082-228-8250
2/19	職長・安全衛生責任者教育 in 福山 第4回2日目	7	防災防広島県支部	082-228-8250
2/20	平成24年度 建築士定期講習(広島)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/22	丸のご等取扱い作業従事者教育 in 福山 第4回	4	防災防広島県支部	082-228-8250
2/24	第4回 建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム	3	広島県建築士会	082-244-6830
2/26	足場の組み立て等作業主任者能力向上教育 in 福山	7	防災防広島県支部	082-228-8250
2/27	新・総合工事業者のためのリスクアセスメント研修 第3回	7	防災防広島県支部	082-228-8250

賛助会員を紹介します

江田島市役所
都市整備課

市長 田中 達美

〒737-2392 江田島市能美町中町
4859-9
☎ 0823-40-2773
http://www.city.etajima.hiroshima.jp

大之木建設(株)

取締役社長 大之木 雄次郎

〒737-8502 呉市中央
3-12-4
☎ 0823-26-1511
http://www.onoki.co.jp

(株)KI works

代表取締役 井手口 耕三

〒733-0815 広島市西区己斐上
2-69-16
☎ 082-881-1321

東リ(株)
広島営業所

所長 古川 誠二

〒733-0002 広島市西区楠木町
3-16-12
☎ 082-239-2858
http://www.toli.co.jp

(株)長崎塗装店

代表取締役 長崎 邦彦

〒730-0031 広島市中区紙屋町
1-1-13
☎ 082-247-9365
http://www.nagasakitoso.co.jp

(株)長沼電業社

代表取締役 長沼 毅

〒730-0036 広島市中区袋町6-14
☎ 082-248-2501
http://www.naganuma.co.jp

坂町役場
建設部産業建設課

町長 吉田 隆行

〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜
1-1-1
☎ 082-820-1510
http://www.town.saka.hiroshima.jp

(株)ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

〒730-0029 広島市中区三川町
7-1 SK広島ビル4F
☎ 082-546-1378
http://www.jesupport.jp

(有)ジブ建築設計工舎

代表取締役 多森 治義

〒734-0014 広島市南区宇品西
4-4-12
☎ 082-254-4118
http://www.jib-art.co.jp

(株)日経ビーピー

代表取締役 長田 公平

〒108-8646 東京都港区白金1-17-3
☎ 03-6811-8000
http://kenplatz.nikkeibp.co.jp

日本ERI(株)
広島支店

支店長 藤原 卓士

〒730-0013 広島市中区八丁堀
14-4-3F
☎ 082-211-5500
http://www.j-eri.co.jp

日本住宅パネル工業(協)
西日本支所広島営業所

営業所長 松本 大治

〒733-0841 広島市西区井口明神
1-14-43
☎ 082-270-3700
http://www.panekyo.or.jp

下花建設(株)

代表取締役社長 大儀 民生

〒731-4323 安芸郡坂町横浜中央
1-6-30
☎ 082-820-1111

章栄不動産(株)

代表取締役社長 萩 剛

〒730-0037 広島市中区中町2-16
☎ 082-545-8888
http://www.shoecorp.co.jp/

(株)新広島設計

代表取締役 錦織 亮雄

〒730-0042 広島市中区国泰寺町
1-8-30
☎ 082-243-2751
http://www.shinhiro-sekkei.co.jp

(株)広島建築住宅センター

代表取締役 栗栖 繁

〒730-0013 広島市中区八丁堀
15-10-3F
☎ 082-228-2220
http://www.hkjc.co.jp

(株)プレック

取締役社長 上山 雄二

〒732-0068 広島市東区牛田新町
2-4-19
☎ 082-228-6638
http://www.prehouse.com

(株)ミヤジ

代表取締役社長 宮地 宏治

〒722-0051 尾道市東尾道9-10
☎ 0848-20-2111
http://www.e-miyaji.com

(株)杉田三郎建築設計事務所

代表取締役 杉田 輝征

〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5
☎ 082-228-2345

(株)砂原組

代表取締役社長 中川 博司

〒730-0047 広島市中区平野町1-16
☎ 082-243-7421
http://www.sunahara.co.jp

日建学院広島校
(株)セイブコーポレーション

代表取締役 仲西 毅

〒730-0016 広島市中区機町14-11
ウイング八丁堀ビル 8F
☎ 082-511-5515

(有)元廣建築設計事務所

代表取締役 元廣 清志

〒722-0037 尾道市西御所町6-15
☎ 0848-23-5300
http://www.urban.ne.jp/home/madesign



総合資格学院
広島支店

学院長 岸 隆司

〒730-0037 広島市中区中町7-35
和光中町ビル 4F
☎ 082-542-3811
http://www.shikaku.co.jp

大成建設(株)
中国支店

役員支店長 矢口 則彦

〒730-0041 広島市中区小町
2-30 第二有楽ビル
☎ 082-242-5301
http://www.taisei.co.jp

中国電力(株)
管財部門(建築)

部長 原 弘明

〒730-8701 広島市中区小町4-33
☎ 082-544-2519
http://www.energia.co.jp

(株)中電工
広島統括支社

取締役支社長 西村 康一

〒734-0007 広島市南区皆美町
1-9-35
☎ 082-256-0719
http://www.chudenko.co.jp

(株)ティーエス・ハマモト

代表取締役 濱本 利寿

〒731-0135 広島市安佐南区長束
4-16-2
☎ 082-238-1511
http://www.ts-h.co.jp

TOTO(株)
中国支社

支社長 秦 悟

〒734-0014 広島市南区宇品西
4-1-36
☎ 082-505-1029
http://www.toto.co.jp/

株式会社 **ティーエス・ハマモト**

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

地域だより
呉

「伊勢神宮」見学研修会

編集委員会 濱井 義樹

11月10日から21名の参加による、1泊2日の見学研修会を行いました。目的地は伊勢。来年の式年遷宮を控えた「神宮」と話題の「せんぐう館」に加え、今回の目玉とも言うべき「山田工作所」です。

「関係者以外進入禁止」の山田工作所では、神宮のほぼすべての建築材の加工を行っています。敷地内には数棟の木材加工場の他に、銅板加工場、茅の保管庫や加工場、玉石の保管所や洗浄所もあり、貯木場には檜の巨木が多数浮かんでいます。工作所の職員の方のご案内で、全棟を見学させていただきました。



次の「せんぐう館」には、一般の目に触れることのない神宮の実物大レプリカが展示されています。今まさに、この木材加工の様子を見学してきただけに、つつい細かい所にまで目がいきつてしまいます。

翌日はあいにくの雨でしたが、神職の方のご案内により、非常に丁寧な説明を受けながら、内宮を参拝しまし

た。参拝の後の神楽奉納では、堪能し過ぎて足がしびれ、しばらく立てない方も多かったようです。



今回の最大の成果は、やはり「式年遷宮」の意義を理解できたことでしょうか。20年に1度の遷宮は、現物を確認しながら、生涯で2度も3度も技術を習得できる。技術継承のためには非常に効率的で合理的なシステムだったのです。解体された木材も、腐朽したもの以外は神宮内の他の神社の他、各地の神社や鳥居、橋などにも再

利用されるというリサイクルシステムが完成しているそうです。また、宝物の数々も同時に更新されることで、千数百年の間、さまざまな技術が風化することなく綿々と、現役のまま今に継承されているのです。伊勢神宮の奥深さを思い知らされました。



明を伺いました。フィルムと機密テープを上手に使って施工すれば、熱損失と気密性が良くなることを話されました。参加者が断熱充填を実際に経験し、非常によく理解できました。

次に日本住環境(株)の釣本氏が、気密性能の話と気密測定の実演をされ、C値が「0.5CM/M2」と良い結果が出ました。正しく施工できれば、ゼロエネ住宅がいろいろな方法でできることが分かりました。

最後にマスタランドビル(株)社長の増田氏が、建物の概要を話され「皆さんもこれから挑戦してください」と、エールを送られました。

省エネには高気密、高断熱は欠かせません。早くから仕事に慣れなければならないと感じました。



地域だより
広島

「広島県産材の利活用！森の木が家になるまで」

広島支部 見学委員会 吉谷 勝美

平成24年12月1日(土)、小城林勲さん【(株)小城六右衛門商店】を講師に、広島の森に生育した杉の立木が、切り倒されてから、製材され、家の材料として利用されるまでの過程を見学しました。



まず、立木(樹齢約70年)の伐採です。日ごろは見るのがないため、間近で大木が音を立てて倒れる姿は迫力がありました。伐採後は、山にそのまま自然の状態でも半年程度乾かします。これを葉枯らし乾燥と言います。強制的に乾燥させるよりも木が持っている本当の力が出てくるそうです。古い寺社などはこうした材料を使用しているため、何百年も耐えているのです。



次に、山で葉枯らし乾燥した木を集め、製材所で太鼓挽きにします。そして積木積みで更に自然乾燥(雨ざらし)させます。必要に応じて、非常に大きな乾燥機械に入れ、ゆっくり低温乾燥させ、木材を熟成させます。その後、注文に応じて正寸加工し、プレカット工場に運ばれ、建設現場に搬送されます。



最後は「地域住宅モデル普及推進事業」の補助金を受けて、葉枯らし乾燥させた広島産材(杉・檜)を活用して建築されたモデルハウスで、施工会社の方から詳しく説明を受けました。

環境問題が大きく取り上げられる中で、二酸化炭素を固定すると共に、耐久性の高い木材の利活用が見直されています。また、木の温もりと柔らかな肌触りを通じた空間では、穏やかに気持ち良く生活することができます。

持続可能な社会づくりに貢献する地域産材の知識を踏まえて、広島の気候・風土に配慮した暮らしやすい家づくりを行うことが、建築士や施工者に求められています。

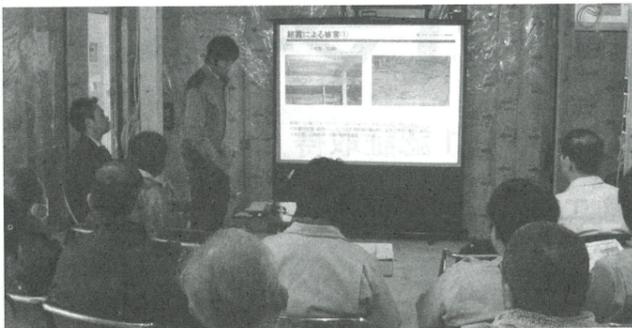


地域だより
三次

断熱施工セミナー

県北支部 小又 正文

昨年11月24日、三次市十日市の「オークはいつ住宅団地」内で、県北支部による断熱施工セミナーが開催され、20名の参加がありました。マスタランドビル(株)



のご厚意により、現場での講習になりました。

住宅のゼロエネルギー化推進事業採択物件を使用し、JFE(株)の武氏より、ロックファイバーの充填工法の説

指定確認検査機関
(中国地方整備局長指定第1号)

登録住宅性能評価機関
(中国地方整備局長登録第5号)

登録建築物調査機関
(中国地方整備局長登録第1号)



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL: 082-545-5607(代表) FAX: 082-545-5608

